

保護司だより

春日部地区保護司会(春日部市・杉戸町・宮代町)

第7号

平成30年
2月発行

手をさしのべよう！いつでもどこでも誰にでも



さいたま保護観察所長

吉田千枝子

「息の長い」支援のために

昨年4月にさいたま保護観察所長を拝命しました。さて、再犯防止が我が国の治安対策において最重要課題となっております。地域社会で生活するに当たって、多様な問題、ニーズを抱えた犯罪者の再犯を防ぐためには、地域における「息の

長い」支援が必要です。平成28年12月に再犯防止推進法が制定、施行され、再犯防止等に関する国及び地方公共団体の責務が明らかにされました。今まで以上に地方公共団体との連携強化が望まれます。



春日部地区保護司会会長

松本博道

もどろない・もどろない

保護司は犯罪や非行をした人の立ち直りを支え、犯罪予防活動に取り組んでいます。再犯防止には、本人の努力はもちろんです。信じてくれる人がいる事、必要とされる場所がある事など地域の中に「居場所」がある事が大きな後押しになります。

不幸にも罪を犯してしまった人々の更生と社会復帰を図るには「地域のチカラ」が不可欠であります。今後とも、関係機関・関係団体と連携し、地域の皆様にご理解ご協力をいただきながら「犯罪のない明るい社会」を目指したいと思います。

社会を明るくする運動の紹介

社会を明るくする運動とは

★犯罪や非行を防止し立ち直ろうとする人を支える
★罪を犯した人たちの更生に理解を深める

安全で安心な暮らしは、すべての人々の望みです。犯罪等をなくすための取締りを強化し、処罰することも必要ですが、立ち直ろうと決意した人を地域や社会で受け入れることが大切です。地域すべての人たちがそれぞれの立場で関わっていくことが必要です。この運動は、昭和26年に始まり67回を数えました。活動として作文コンテスト、講演会、住民集会等、様々なイベントが催されています。自分には何ができるか、みなさんも考えてみませんか。



中学生への啓発活動



前原中学校正門での啓発活動

7月10日、宮代町の中学校で登校する生徒たちにマスクットキャラクター「更生ペンギンのホグちゃん」が印刷されたホルダー等の啓発グッズを手渡しました。また、588件の標語が集まり、その中から今回のテーマに合った作品を紹介しています。

つなげよう人と人との見えあい
須賀中学校 3年 吉田 知夏

杉戸支部での啓発活動

11月3日、アグリパークゆめすぎとで開催された「杉戸町産業祭」の会場にて、マスクットキャラクター「すぎびよん」といっしょに町内外からの来場者に啓発パンフレットや関連グッズを手渡しました。みなさんとても興味深くご覧になっていました。



すぎびよんと共に啓発活動をしました

小・中学校作文コンテスト



12月27日さいたま保護観察所での授賞式
受賞者と保護観察所長

受賞タイトルと受賞者のお名前を写真右よりご紹介します。

さいたま保護観察所長賞

春日部市立葛飾中学校
二年 井東 きららさん

埼玉県保護司会連合会長賞

春日部市立豊野小学校
六年 国分 和さん

杉戸町立広島中学校
三年 中野 莉音さん

埼玉県更生保護観察協会理事賞

春日部市立武里中学校
三年 増田 悠誠さん

埼玉新聞社長賞

春日部市立武里中学校
一年 細谷 優介さん

保護司とは

保護司は、法務大臣から委嘱され、地域での更生保護の活動を保護観察官と協力して行う民間のボランティアで、非常勤の国家公務員です。

刑務所や少年院から出て、又は裁判などで「保護観察」を受けることになった人がスムーズに社会生活を営めるよう、生活・精神面の相談を受けたり、就職等、様々な支援活動に取り組んでいます。これらの活動を通じて、地域の安全・安心に努めています。

保護司体験記

未だに気がかりな少年がいます。あどけなさが残る16歳の少年で、初回面接での親の同席はありませんでした。校内暴力、

万引き、家出、ついには鑑別所での生活となり、そして私と出会い、1年程の交流となりました。

月2回の面接は約束を守り穏やかな表情で話すものの、両親は仕事で忙しくほとんど帰宅せず、少年はいつも空腹でした。

その後、協力雇用主さんの下で仕事に就くことが出来ました。給料は親に渡し生活費をもらうようにしていましたが、それでもなお自分が悪かったからと自らを責めていました。

非行・犯罪は良くありません。何がそうさせたのか常に考えてしまいます。対象者の苦悩を共有しつつ更生へと導いたらと願っています。

(K・H保護司)

お世話になった保護司さんへ

初めてお会いした時、私は刑務所から出てきたばかりで、少しばかり警

戒心を抱いていました。

そんな私を見抜いてか、あなたは『お疲れさまでした』と優しく声をかけてくれました。あなたのやさしさに触れられたことで、私の気持ちは徐々に変わっていきまして。色々と相談に乗っていただいたおかげで、私は大きく前に進むことができました。あなたが私の保護司でなければ、今の私はないと思います。

まだまだ未熟者ですが、もう道には迷いません。これからはしっかりと地に足をつけて真面目に生きていきたいと思えます。本当にありがとうございます。ありがとうございました。

黄色い羽根運動



故高倉健主演の『幸福の黄色いハンカチ』という映画をヒントに、長崎保護司会が平成21年「社明運動」を行うため活用したのが始まりで、今では全国的な拡りを見せてきました。国会で安倍首相以下、全閣僚が黄色い羽根を付けていたので話題になりました。

私も毎年7月に限らず外出時は、黄色い羽根をモチーフにしたバッジを着けるよう心掛けています。犯罪や非行のない幸せな明るい社会を目指し活動するのが保護司の使命であると、この運動を通じて知って頂きたいと願っています。

(K・W保護司)

立ち直りました!



更生ペンギンの「ホゴちゃん」

研修部会活動

更生保護は、犯罪や非行をした人の更生・立ち直りを地域社会で支え、地域の犯罪・非行の予防を図る活動です。

保護司は、様々な状況にある対象者の改善更生に適切な対応ができるよう、関係法令の学習、事例研究などをテーマにした定例研修会を受講しています。また、矯正施設などの視察研修を通じて自己研鑽に努めています。研修部会は研修が効果的に行われるよう、企画・運営を担当しています。



栃木刑務所を視察しました

就労支援部会活動



7月27日、春日部市市民活動センターで協力雇用主の新規開拓に向けて、事業主を対象に埼玉県就労支援事業機構の後藤宏道事務局長を講師にお迎えし、「保護観察対象者等への雇用に対する就労支援メニューの概要説明会」を行いました。説明会には、事業主8社9名の参加がありました。現在、春日部地区では協力雇用主として13社が登録されています。

春日部地区保護司会名簿

(平成30年2月1日現在)

春日部支部								宮代支部	杉戸支部
粕壁地区	内牧地区	幸松地区	武里地区	武里団地地区	豊野地区	豊春地区	庄和地区		
石川ヒサ子	飯塚 悦子	尾花 冬樹	飯田 道代	中田 礼子	石塚 唯夫	新井 和正	中田 晃	伊草美枝子	大串 雅治
岡田 誠一	野村 三男	熊井 知仁	伊澤しづ枝	矢島 順子	川鍋 俊夫	河井 崇文	中田 健治	小林 次祥	川田 妙悦
梶川登代子	松本 博道	関根 政男	石川 豊		浪打 彬	清水けい子	野上 幸司	田島 正徳	菅野 泰孝
木村奈加子		高橋 薫	梅谷 正之		逸見 英男	竹田 正則	広松三和子	為ヶ谷千佳子	坂巻 東洋
児島 信弘		菱沼 和保	金重 光江			當間 義廣	水野 洋	手島 互	芹沢 久枝
小林 秀樹			小久保博史			三浦 宏之	山内 融法	中村 恵子	高岡 邦人
中島 幸一			菅原 由仁			峯山 篤雄		野口 昌宏	武井 浩昌
中田 卯敦			時田 温史			山崎富美男			野口 道夫
永田 京子			三ノ輪健三			渡邊 一民			馬島由美子

※50音順

更生保護シンボルマーク



人はみな、
生かされて
生きてゆく。
更生保護ネットワーク

編集後記



第7号のテーマは「手をさしのべよう!」いつでもどこでも誰にでもです。良い響きですが、実行はなかなか難しいかも知れません。広報部会では、部員それぞれが意見を出し合い互いに手をさしのべ合い、作りあげました。これもテーマの実行、その一つだと思います。

(文責 菅野 泰孝)

発行・編集

春日部地区保護司会

事務局

春日部市中央六丁目二番地
春日部市役所生活支援課内